

消火器の使い方を確認しましょう

火災による被害を最小限にするには、初期消火が肝心です。消火器は、その初期消火に大変有効な道具です。火災が発生すると気が動転してしまい、簡単に使えるはずの消火器が使えないということもあります。万一に備えて消火器の使い方を確認しておきましょう。

消火器の使い方



■消火器を使う上での注意点

- ▷ 姿勢を低くし煙や炎から身を守りましょう
- ▷ 火元をねらい、手前からほうきで掃くように消火しましょう
- ▷ 室内で使用する場合は、出入り口を背にして逃げ道を確認しましょう
- ▷ 屋外で使用する場合は、風上から使用しましょう
- ▷ 火が天井まで広がったら初期消火は不可能です。すぐに避難しましょう
- ▷ 本体に表示してある放射時間や放射距離を日頃から確認しておきましょう

※火災が起きた場合は、大声で「火事だ！」などと叫び、まずは火災が発生したことを周りに知らせましょう。一人で対処するのではなく、皆さんで力を合わせて被害の拡大を防ぎましょう。

問 市消防本部 (☎0123)

看護学生修学資金の貸付

市では看護師、助産師の確保を目的に、将来、市立総合病院の職員として従事する意志がある方に、修学上必要な資金の貸し付けを行っています。

応募資格

平成30年4月1日現在、看護師または助産師を養成する施設に在学し、将来、市立総合病院で勤務する意志のある方で、満37歳以下の方

貸付人数 若干名

貸付金額 月額7万円（無利息）

貸付期間 平成30年4月から養成施設の正規の修学期間を終了する月まで

申込方法

5月1日(火・必着)までに所定の申請書（市立総合病院総務課で配布または病院ホームページからダウンロード）を、同課へ提出（郵送可）してください。

選考試験 ▷ 期日…5月12日(土)

▷ 内容…面接、作文、教養試験

償還免除

免許取得後直ちに市立総合病院の看護職員などに採用され、修学資金の貸付を受けた期間と同期間勤務した方には、**奨学資金の償還を免除する制度があります。**

問 市立総合病院総務課(☎02111・内線2866)

健康管理のために受診しましょう 国保人間ドック

国民健康保険に加入している方を対象に、人間ドックの費用助成（上限11,000円）を行います。

※後期高齢者医療保険に加入している方には、5月に案内を送ります。

期 間 6月～平成31年3月

場 所 市立総合病院

健診区分・自己負担額・定員

健診区分	自己負担額	定員
半日ドック		
胃カメラ検査	23,560円	合計350人
胃バリウム検査	21,400円	
胃検査なし	11,040円	
半日ドックー子宮・乳がん検査あり		
胃カメラ検査	29,510円	合計130人
胃バリウム検査	27,350円	
胃検査なし	16,990円	
脳ドック	27,990円	150人
肺がんドック	19,660円	10人

申込方法

人間ドック申込書（4月中旬送付の納付通知書に同封）を、5月1日(火)までに市民課保険年金係へ提出（郵送可）してください。各支所でも受け付けます。受診日は後日、市立総合病院から連絡します。

問 市民課保険年金係（内線132）